



いづなコネクトWEST2階から斑尾山を望む

photo 飯田 安彦

特集

飯綱町の次世代に 繋ぎたい ～食と農のある暮らし～

主な掲載記事

飯綱町の次世代に繋ぎたい～食と農のある暮らし～ ……	2～5
本の魅力・あっちこっちこの町 ……	6
いづな時空散歩・ど～こだ!? ……	7
公民館ダイアリー・掲示板など ……	8～10
アルバムからこんにちは・さんぽ道 ……	11
はぐくむ ……	12

「ど～こだ!?」では、答えを募集しています！ぜひ、ご応募ください!!

米を中心にした一年の流れ



【図表】米を中心にした一年の流れ（「飯綱町の食ごよみ」より 宮本久子さん作）

飯綱町の次世代に繋ぎたい ～食と農のある暮らし～

平成28年3月に発行された『飯綱町の食ごよみ』という冊子をご存知でしょうか？

図表はその中にある「米を中心にした一年の流れ」です。

四季と年中行事・食ごよみと稲作の関係性を分かりやすく表しています。

飯綱町では次世代を担う子どもたちへの農作業体験や食文化伝承活動が積極的に行われています。

この飯綱町の食文化の原点はどこにあるのか、探してみたいと思います。

編集委員 西村 啓大、近藤 りえ子、大塚 幸枝

飯綱町の食文化を研究し、食育推進を牽引してくださっている第一人者の「だんだりの会」代表、黒柳博子さんにお話を伺いました。

Q「だんだりの会」とは、どんな会ですか？

三水と牟礼が合併して飯綱町が誕生した平成17年に、ちょうど国で「食育基本法(※1)」が制定されました。それを受けて、その2年後、飯綱町でも食育推進計画を盛り込んだ「健康いづな21」が策定され、計画の推進組織として、食に関わる諸団体の有志が集まって発足したのが「だんだりの会」です。「健康

いづな21」の一環として、食文化やその技についてお年寄りから話を聞き取り始めました。そうしたら、昔ながらの食生活や暮らしの中で大事にしてきたことなど、実にいろいろなことがわかり、これだけ子どもたちに伝えたい、と考えました。

※1 食育基本法：「国及び地方公共団体は、伝統的な行事や作法と結びついた食文化の継承を推進するため、これらに関する啓発及び知識の普及、その他必要な施策を講ずるものとする」



「農業は生きる力」と語る黒柳さん

Q「だんだりの会」のみなさんが伝えたいことは何ですか？

ただ郷土料理を作って食べて「おいしかった」、農業体験をして「おもしろかった」だけで終わってはいけません。ここに住んでいる人たちが、脈々と受け継いできた「米を作る」ことを伝えなければいけない！と強く思いました。飯綱町の食育は、食農教育と考え「種から調理して食べる」ところまでです。ベテランであると考えています。

Q「食文化を伝える」「郷土食」とはどんなことですか？

現在のように、米作りが機械化される前は、小学生も貴重な「かせぎ手」で、学校には「田植え休み」というのもありました。田植えのおこぼり(小さいお昼↓こひる↓こびり)は、例えば「きなこおすび」や「しみ大根の煮物」でした。稲が黄金色になることを祈り、田んぼに水が豊富にあることへの願いを込めて食べられていたんです。そんな願いや思いをおしゃべりしながら、おこぼりを一緒に食べました。

「米作り」は生活そのもの

です(図表参考)。

秋の収穫の感謝が「秋祭り」であり、田舎の生活に彩りを添えてくれました。特別な日を「ハレ」と呼び、普段の日は「ケ」と呼んでいました。食文化は、日々の暮らしに潤いとリズムを作ってきた。その土地で作られているものを使って、おいしく工夫をこらしたものが郷土食だと考えています。農業なくして郷土食はないのです。

Q 具体的にどんなことに取り組みたいらっしゃるのですか？

農業を絶やさないと、米を作り続けることは「生きる力を育むこと」と信じています。そこで「だんだりの会」のメンバーは町内の小・中学校、高校に足を運び、5年生の米作り、2年生の大豆作り、郷土料理クラブ、高校の地域授業(「箱膳」体験)のお手伝いをしています。2年生は収穫した大豆で、納豆や味噌、豆腐、きなこ等を作り、食べられる楽しみも味わいます。今年の2年生はきなこ作りを体験しました。味噌や豆腐作りは、新学年に持ち越して実習する予定です。直接「だんだりの



令和4年11月に行われた「食の匠」講座で振る舞われた箱膳食

会」の指導ではありませんが、小学3年生はりんご作り、4年生は水路を学んでいるそうです。

Q「箱膳」の伝承を大事にしている伺いましたが、どうですか？

「箱膳」とは、箱の中に一人用の箸・飯茶碗・汁椀・湯飲み茶碗や皿が入っていて、食事の時に箱膳の蓋を裏返して箸や茶碗を並べて「膳」として使います。食べ方には作法がありますが、「だんだりの会」で指導するにあたっては、「箱膳」は、和食の食べ方や食事に向かう姿勢、心構えを伝えるためのツールと考えています。膳にのせる物は現代の物でもいいんです。日本人の心を持って食事に向き合ってほしいですね。箸の使



蒸し上がった米を冷ましています。40℃位に冷めたら麴菌と混ぜて麴機で丸1日おかせて、茹でた豆と混ぜながらすりつぶします

今、私が食べられていたのか、そこまで考えて感謝しての「いただきます」であり、「ごちそうさま」なのです。

Q 長野県の食文化で特徴的なものはありますか？

長野県民はいろいろなものを様々な工夫を凝らして食べられるようにして食べてきたと思います。長野は

い方や、茶碗の持ち方などは、みんなで食べる時の約束ごとです。「みんなで食べる」とは、相手がいるということですね。相手の気持ちに立って食べる、相手の気持ちになって作る、ということですね。日本人は、食べる前に「いただきます」と言いますよね。外国にはこういう言葉はないそうです。誰が作った作物なのか、誰が料理してくれて、

山に囲まれているから山菜や木の実を食べますよね。でもそのまま食べるのではなく、あく抜きをしたり、干したり、いしく食べてきました。例えば、胡椒は、日本中どこでも食べますが、長野では葉っぱのあくを抜いて葉っぱまで美味しく食べるし、イナゴもハチの子も食べる。食べられるものは工夫をこらして食べ

ました。冬用に蓄えたものを、いかにして夏まで食べつなぐか、生きるのに必要な工夫だったんですね。信州味噌もそのひとつで、米こうじを使った味噌作りも盛んに行われています。飯綱町でも、伝統の食文化のひとつとして味噌作りを伝承している団体があります。三水味噌・天狗味噌の名前で町内外の直売所等で販売されていて、おいしいと評判です。

Q 地産地消もよく耳にしますが？

飯綱町の学校給食や保育園給食では、なるべく旬の食材、地元産の食材を使うように心がけてくださっています。お米と味噌は100%飯綱町産です。県内他校から転任してこられた先生は、給食のおいしさに驚いて「飯綱の子どもたちは幸せですね」とおっしゃったそうですよ。

Q 次世代に向けてメッセージをお願います。

食文化を絶やさないために、後継者を育てていきたいです。「食の匠」講座を開いて、郷土食と文化伝承の方法と技術を学んでいきます。興味・関心のある方にたくさん参加して

いただきたいです。

子どもたちの食育として、自分たちが育て、自分が作ったものはおいしいという経験を積んでほしいです。その経験があれば、都会に出ても、確かな消費者として生活していけると思っています。

農業は生きる力です。作る人を育て、地域で作り地域で消費するシステムが機能して

田んぼ、水、山、人

…すべてが繋がって循環し、そして今、自分がここにいて、ということを感じます。先人の暮らしの知恵や工夫を体験しながら「農のある暮らし」を営むことがどんなに豊かであるかを思いながら、これを絶やすことなく次世代に受け継いでもらいたいです。

いた



石臼って重たいなあ!! この穴に大豆を入れると、この隙間から粉になって出てくるなんてすごーい!!



すり鉢とすりこぎでゴリゴリゴリ。なかなか粉にはならないなあ。でも、いい匂い!!

てることで、植物は手をかければ手をかけただけそれに応えてくれること、頑張ること、いい結果が得られることも経験してほしいという思いもありました。子どもたちは、草取りや水くれなどの栽培活動に、とても意欲的に取り組んでくれました。きなこを作るために、収穫した大豆を自分たちで炒りましたが、炒っていくうちに匂いが変わった

ことに気づき、口々に「いい匂い!」と声をあげていました。五感で体験したからこそわかる嬉しい気づきでした。子どもたちは、栽培体験を通して「育てる大変さ」「育つ喜び」「おいしいものが食べられる」という期待から生まれる意欲「自分たちで育て収穫したもの食べる喜び」「手塩にかけたものだからこそおいしいさも倍増」を、肌で感じ、実感しました。子どもたちの「生きる力」になってくれると思います。

【児童の感想】
○草取りや水くれば大変だったけど、おいしいものが食べられると思うて頑張った。
○炒った豆を細かい粉にするのが大変だったけど、石臼もすりこぎでするのもおもしろかった。すごくいい匂いだった。買ったきなことおもしろかった。
○大豆が、きなこ・豆腐・味噌・納豆、いろいろな変身する食べ物だと知らなかったの、わかっておもしろかった。

○きなこがどう作られるかお母さんも知らなかったの、教えてあげた。
【飯綱町の伝承したい食文化のひとつとして、味噌作りにおじゃましました】
【飯綱町の味噌作りグループの皆さんからのメッセージ】
飯綱町の米と豆を使った味噌は香り高く本場においしいです。高血圧の方が多くて短命だった長野が日本一の長寿県になったのは、箸が立つほど具だくさん野菜たっぷり朝一杯のみそ汁を奨励したからだと



洗った豆を大鍋に入れ、一晩ねかせてから火をつけ、沸騰するまでは強火で、その後は柔らかくなるまでコトコト煮ます

らだと言われています。町内には、仲間同士で味噌づくりなどができる牟礼農林産物加工施設(野村上)とアツプルパーク大豆加工施設(倉井)があります。また、直売所さんちゃんの奥には、チアさみずが管理する農産物加工所もあり、どこの加工施設でも自分では作れない方のために委託加工もしていただけます。みなさんは味噌を作ったことがありますか?味噌は1日目米洗い→2日目麴仕込み

と豆洗い→3日目麴手入れと煮豆→4日目味噌仕込みの工程で作ります。その後、半年以上熟成させれば食べられるようになります。手前味噌という言葉があるように、自分で手作りの味噌は超おいしい!のです。挑戦してみたいかがでしょうか。初心者、希望により天狗味噌を製造している味噌研究会の方や三水味噌を製造しているチアさみずの方に指導をお願いすることもできます。

取材を終えて

飯綱町の食文化の原点は「農のある暮らし」という黒柳博子さんの言葉に尽きると思いました。農業離れ、農業従事者の人手不足と言われる昨今、食物自給率が他国に比べ低い日本ですが、ここ飯綱町では食べものに事欠かないので身近ではないように思っていました。が町内も耕作放棄地が段々と増えてきました。食文化を通じて農地を護り、途切れないように、次の世代にしっかりと繋いでいく。その使命感を与えられたような気がします。

本の魅力

子どもたちへの想い

読み聞かせにのせて

金井江梨子さん(横手・かっこう文庫会長)

皆さん「かっこう文庫」をご存知ですか？

牟礼小学校のお母さんたちが代々引き継いでいる読み聞かせの会です。

金井さんは、仕事や家事、3人の子育てと忙しくなり、ゆっくり絵本を読み聞かせする時間が少なくなり寂しさを感じ、「かっこう文庫」を通して自分が絵本に触れる時間をとりたいたと読み手を始めたそうです。

本を選ぶ時は季節感をとっても大事にし、年の初めは干支にちなんだ絵本やお正月がテーマの絵本と時事ネタは外せません。全学年に



熱い想いを語る金井さん

読み聞かせをするので学年によっても気をつけているところ。

1年生の春なら入学おめでとうの絵本、6年生には中学頑張れと思いを込めた絵本やプレッシャーでめげそうな時に思い出してほしい絵本などを選びよう心がけているのだとか。

読み聞かせの時に最初に読む本は子どもたちの心をつかみたいと思つて、少しキャッチーなものを選ぶこともあり、「自分が内容をちゃんと理解しておきたいので事前の勉強、練習は欠かせません」と読み聞かせの前には、自分の子どもたちに聞いてもらつて読むペースや声のトーン、そもそもこの話が面白いかなどリサーチしてから本番に挑む徹底ぶりにも金井さんのこだわりを感じます。

「かっこう文庫の良いところは普通のお母さんが読んで



お気に入りの絵本たち

れることなんです。初めは緊張で嘔むこともあつて失敗もしたけど、だんだん慣れてくるにつれて子どもたちとの一体感も生まれ非日常を体験できてやりがいがあり楽しいです。自分が疲れていたり嫌なことがあつても、読み聞かせをするのがスツキリとリセットすることができ、自分のためにもなつていきます。子どもたちのことを考えて選書するので、そこが一番難しく読み聞かせをした後に子どもたちからの反応があると、とても嬉しくてまた次も頑張ろうと思えます。

保護者の皆さん、金井さんの読み聞かせを一度見学に行つてみてはいかがでしょう？ (正村)



タイトル/近藤 理香

No.67 北国街道牟禮宿 お休み処

牟礼区コミュニティ消費センターに平成27年7月29日に完成した東屋です。「センター北側に大きな下

屋を作つて欲しい」と、区民の皆さんからの要望で、当時の役員さんたちがいろいろと検討を重ね、平成26・27年度の飯綱町集落活性化支援事業資金の申請や区の財産積立金を使って、木造平屋建築、延べ32㎡の下屋ではなく立派な東屋が完成しました。完成前の7月5日養蚕神社祇園祭当日は、東屋の棟上げが行われ、昔行われていた「ぐし餅」撒きを再現したり、完成後の9月12日秋季例大祭には落成記念で、東屋の下で獅子舞の奉納が行われたそうです。



7年経った今も地域住民に愛され活用されている東屋

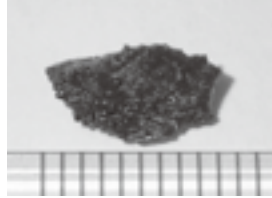
東屋は、資源回収の悪天候対策、秋祭り神楽の悪天候対策、区行事の会場の一部として利用したり、区民のグループ野外懇親会など、多くの区民に愛されているとのこと。 (速水)

いづな時空散歩

Vol.18

蛇口の向こうに宇宙を感じる

飯綱町の田んぼの脇には用水があり、台所の蛇口をひねると水が出ます。その上流には、川岸の取水施設や山麓に掘られた井戸があります。さらに水の源を訪ねると、飯縄火山や斑尾火山にたどり着きます。山に降った雨や雪解け水は、いったん地下にもぐり、静かに川を潤します。山は巨大な水がめ、であり、山をつくったのはフォッサマグナを形成



小惑星リュウグウの石粒
(1目盛は1mm)
(歴史ふれあい館蔵、JAXAと相模原市から提供されたレプリカ)

した北信濃の地殻変動と火山活動です。一方、海から水蒸気になった淡水を陸に運ぶのは風のしわざです。風が山に運び上げた水が、川になって山を下ります。大雪をもたらす雪雲は、大陸から日本海を越えてきた季節風が日本列島の山々にぶつかるときに生まれます。冬に大陸から冷たい季節風が吹きつけるのは、遠いヒマラヤ山脈の隆起が一因で、その隆起の原動力は地球深部のマントル対流にあると考えられています。

ところで、地球と太陽の距離がもし今より近ければ水は全て蒸発し、遠ければ全て氷結し、いずれにせよ海・空・陸の水循環は止まり、青い水惑星の地球はありません。さらに地球の水が宇宙のどこからやってきたのかは今も謎です。近年話題を集めた「はやぶさ2」による小惑星探査計画には、地球の水の起源を探る目的もありました。蛇口から小惑星リュウグウまでの46億年をたどる時空散歩をしてみると、日々の水の恵みに奇跡を感じます。

(いづな歴史ふれあい館長 富樫均)

シリーズ人権めぐりがい

104

「ジェンダー平等」とは、性別に関わらず平等に責任や権利や機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていくことを意味しています。また、近頃よく耳にするSDGsでは「ジェンダー平等」はとても重要なテーマに位置づけられています。SDGs全体の「目的」としての前文では「すべての人々の人権を実現し、女性のエンパワーメントを達成することを目指す」とあります。男性と女性は身体づくりは違っていますが

ジェンダー平等に向けた意識改革

みが行われています。

私たちが日常の中で無意識に行われている男女の役割に目を向け、意識改革をしていく必要があるのではないかと思います。

(男女共同参画推進委員 小林賢司さん)

平等です。

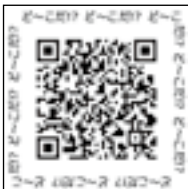
ところが、今の社会では男性の役割・女性の役割など、個人ではなく「性別」によって生き方や働き方が決められてしまうことがあります。

今、世界では法律や制度を変え、教育やメディアを通じて意識を高める活動を行い、社会的・文化的に作られた「性別」を問い直し、すべての人の人権を尊重し、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮できる社会づくりの取り組み

103号「ど〜こだ!？」答え

飯綱東高原 霊仙寺湖の芝広場

■下のQRコードを読み取ると103号の答えの位置図が表示されます。



正解した方の中から抽選で5名様にみつどんグッズをプレゼントします。皆さんのご応募お待ちしております。

応募形式：お好きな様式に、お名前・ご住所・電話番号・答え・公民館報の感想をご記入ください。

応募先：〒389-1211 飯綱町大字牟礼1989
飯綱町民会館内館報編集室
TEL:253-6560 FAX:253-6670
E-mail:gakushu@town.iizuna.nagano.jp

応募締切：4月30日(日)

抽選結果：プレゼント発送をもって当選とします。
※なお、お電話での受付は行っておりません。

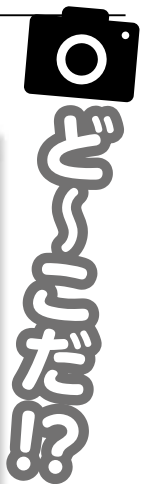
これは、どこから撮った写真でしょう。

ヒント 中野市方面の山々が見渡せませす

Photo 木賀田



答えも
募集します!



新年の決意も新たに

— 元日ジョギング大会 —



令和5年、新年最初の公民館行事である「第18回元日ジョギング大会」が開催されました。昨年は降雪のため中止となっていましたがいまいましたが、2年振りの開催となりました。

好天にも恵まれ、町内外から211名の参加者が集まりました。確認はしていませんが、保育園から古稀を超える方までいらしたので、身にはないでしょうか。身にもまとうウェアも普通の防寒着から本格的なスポーツウェアまで様々で、参加者はお正月特有の和やかな空気に包まれていました。

コースは4・4kmと2kmのラン、2kmのウォークと、それぞれの体調に合わせ選択できます。午前10時30分、峯村町長の号砲でスタートしました。10分も経たないうちに先頭のランナーが戻ってきました。まだまだ余裕な感じでゴールです。その後、続々とゴールし、30分ほどで全員がゴールしました。

元日からみなで走る、歩く。楽しいひとときだったのではないかと感じました。今年もよい年でありますように。

(高橋弘之)

各分館の個性を感じる

— 第18回分館報コンクール —

今年度は、13分館からの応募がありました。各分館では、分館報の構成など、伝統を引き継ぎながらも新たな方法を取り入れるなど本館事業への参加や分館事業の様子を区民の方々に伝えようと創意工夫が感じられます。

審査は、審査員6名により、分館報としての役割・内容・工夫などを勘案して各賞を決定しました。

今年度各賞の受賞分館は次のとおりです。表彰は2月24日(金)開催の分館三役会議の席上で行われました。

○最優秀賞

古町分館

○優秀賞

西黒川分館

東黒川分館

○アイデア賞

小玉分館

○入選

袖之山分館

野村上分館

中宿分館

なお、公民館フォトコンテストも開催する方向で応募を受け付けましたが、1分館のみの応募でした。

○入選 横手分館



最優秀賞 分館報ふるまち 第106号



よし! 今だあ〜 (横手分館)

「公民館報いいづな」

特別賞受賞

— 第9回全国公民館報コンクール —

全国公民館連合会が主催する「全国公民館報コンクール」で特別賞を受賞しました。

2年に一度行われているコンクールで、応募直前に発行した3号を送り審査されます。タイミングが良く、節目であり館報の題字を変えた100号から102号が審査対象となりました。

今回は、92館が応募。金賞3館・銀賞4館・特別賞5館・奨励賞7館が選ばれました。

受賞理由として、「毎号の特集の取材力・構成力が優れており地域の情報を伝える普通の新聞にはない価値がある」「毎号、次世代にかかわる記事が掲載されており、ふるさとの希望を紡ぐ役割を果たしている」「寄稿・インタビュー・対談など形式にとらわれずにさまざまな住民の声が掲載されており、地域の様子が生き生きと伝わってくる」など、審査員から講評をいただきました。



公民館報いづなの伝統・基本を受け継ぐ中で、今後もより良い公民館報をお届けできるよう努力いたしますので、ご愛読いただければ幸いです。

いづなスポーツクラブ会員募集について

いづなスポーツクラブで健康ライフを築きませんか？
クラブでは令和5年度の会員募集をします。

募集期間 3月1日(水)から随時受付を開始します。

年会費… シュニア会員(15歳以下) 10000円

・一般会員(16歳から59歳まで) 15000円

・シニア会員(60歳以上) 12000円

・ハートフル会員(障害者手帳所持者本人) 無料

・幼児会員(6歳以下の幼児) 無料

その他 スポーツ安全保険(加入区分別)の掛け金については別途
必要となります。

問合せ 三水B&G海洋センター内いづなスポーツクラブ事務局

TEL253-8951

いづな大学開催のお知らせ

いづな大学は、飯綱町独自の大学として、学ばれたい方なら18歳
以上であればごなたでも参加できる学習の場を設けています。

令和5年度は、日帰り研修(県立歴史館・森將軍塚古墳・善光寺の
宿坊にて精進料理)、グループワーク(町内等見学・食へ歩き)、町内
文化財見学、町長お出かけ町政懇談会、願法寺(絵解き)、音楽鑑賞
などのまなび講座を開催いたします。開催は令和5年6月から令和6
年2月で、年間13回です。町民の皆様、是非ご参加ください。

お申込みは、令和5年4月下旬から5月上旬に広報紙と一緒に全戸
配布されるチラシをご覧ください。

お問い合わせ…教育委員会生涯学習課 TEL235-6560

いづな教室「伝筆」教室の紹介

いづな教室では、これまでの教室に加え、令
和5年度は新たに生きがいづくり講座として「伝
筆」教室を開催いたします。

伝筆は下のお手本のように、温かい筆による文
字で、日常使いできるような文章や、メッセージ
などを書くことができます。開催は令和5年6月
から令和6年2月で、年間10回程度です。

お申込みは、いづな大学と同時にしています。



中学校図書館新着本

- 罪の境界 薬丸 岳
- 一睡の夢 伊東 潤
- 殲滅特区の静寂 大倉崇裕
- ある愛の寓話 村山由佳
- 残照 田中芳樹
- 植物少女 朝比奈秋
- ぼくはなにいろ 黒田小晝
- 影と踊る日 神護かずみ
- がらんどろ 大谷朝子
- 失踪願望 椎名 誠
- よき時を思う 宮本 輝
- 未来論理 戸谷洋志
- 荒地の家族 佐藤厚志
- 真相をお話します 結城真一郎
- 今と未来がわかる色彩心理 南 涼子
- 農産物直売所で稼ぐ70の極意 勝本吉伸
- 指と耳で見る、目と手で聞く 金治直美
- ふくもの暦 本間美加子
- 災厄の絵画史 中野京子
- 日本史を暴く 磯田道史
- おつかれ、今日の私 ジーン・スー

公民館図書新着本

■ 一般図書

★子どもをキッチンに入れよう！

藤野恵美



出版社 ポプラ社

子どもの「生きる力」を成長
させてくれるヒントが満載！

児童文学作家が育児書や論文、
最新研究データから学んだこと
は「言葉」と「食」の大切さでした。
そこで、家事と育児を無理に分
けるのではなく、キッチンで一
緒に過ごす時間を作り、会話し
ながら、子どもにも料理の体験
ができるようにした。

そこから見えてくる子どもの
成長と、日常の子育てでの変化
について描かれています。また、
子どものお手伝いで楽しく作れ
る時短料理も紹介しています。

■ その他新着本

- 虚ろな革命家たち 佐賀 旭
- しろがねの葉 千早 茜
- 君のクイズ 小川 哲
- 川のほとりに立つものは 寺地はるな
- パップという名の犬 ジル・ルイス
- 江戸一新 門井慶喜
- 令和その他のレイワにおける
健全な反逆に関する架空王八法
新川帆立
- 名探偵のままできて 小西マサテル
- ここが終の住処かもね 久田 恵
- 君の地球が平らになりますよ
うに 斜線堂有紀
- めんどくさいが消える脳の使
い方 菅原洋平
- ケーキの切れない非行少年た
ちのカルテ 宮口幸治
- 非行少年たちの神様 堀井智帆
- 児童図書・絵本
- 地球探検図鑑
- アマゾン川
- 給食室のいちにち
- ちいさなハチドリの子いさな
いつてき
- ネット
- めぐりめぐる
- アーマのうそ
- キャロル・ライリ・ブリンク
- まよなかの魔女たち
- エイドリアン・アダムズ
- 13枚のピンぼけ写真
- キアラ・カルミネアティ
- にわか魔女のタマユラさん 伊藤充子
- ふしぎなメリーゴーラウンド
- リーザ・マリー・ブルーム
- 中村哲物語 松島恵利子

スポーツ協会クラブ紹介

スポーツ協会には、ジュニアクラブ以外に13競技24団体があり日々活動しています。ジュニアクラブのように定期的に団員募集のお知らせはしていませんが、随時加入OKです。

「昔運動していたけど、また、ちょっと体動かそうかな」「ちょっと気になる競技あるんだけど」など、いつでも思い立ったときに加入できます。

ただ、現在コロナウイルスの関係で活動が縮小されているクラブもありますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

卓球(牟礼・三水)
バレーボール(パッション)
ソフトバレー (シニア・むーちゃん・アップル)
バスケットボール
ソフトボール(そよかせ・オール信州・シニア・普光寺・芋川・倉井・赤東)
スキー
テニス(リゾート・三水)
岳友会
陸上競技
ゲートボール
マレットゴルフ
バドミントン (三水・ラブオール)
ゴルフ

過去の活動写真(一部)です



会員募集

令和5年度スポーツ協会 ジュニアクラブ

陸上競技(牟礼陸上)
海洋クラブ(B&G飯綱海洋クラブ)
サッカー (FCイヅナ) (FCイヅナU15)
空手(空手道)
テニス(飯綱リゾートジュニア)
軟式野球(飯綱ドリームズ)
バレーボール 女子(いづな) 男子(三水ジュニア)
ミニバス(飯綱ミニバス)
剣道(飯綱剣道教室)
クラシックバレエ(バレエレッスン)

募集要項は町内小学生及び町内保育園在園5歳児には配布済みです。

提出場所 三水B&G体育館
スポーツ安全保険の代金を添えて
申込書を提出してください。
3月24日(金)までは町民会館でも
受付します。

問い合わせ 飯綱町スポーツ協会事務局
TEL253-8951

スポーツ協会 試合結果

■子どもの部

第49回北信地区

小学生バドミントン大会

期日 12月10日(土)

会場 長野運動公園総合体育館
○小学4年生以下男子シングルス

3位 北村 宏斗

長野SOBC

R5新春ジュニアバドミントン大会

期日 1月9日(月)

場所 長野市運動公園総合体育館
○小学生以下男子ダブルス

3位 北村 悠斗

石川 任

第75回長野県高等学校 スキー競技選手権大会

会場 志賀高原

○女子回転

期日 1月18日(水)

6位 小柳 花梨

○女子大回転

期日 1月20日(金)

2位 小柳 花梨

第78回国民体育大会冬季大会 スキー競技会長野県予選会

期日 1月21日(土)

会場 志賀高原

○少年女子大回転

3位 小柳 花梨

○成年男子A

1位 小柳 一葉
両名ともに団体出場

アルバムから
こんにちには103

石川さゆり歌謡ショー

小林直樹さん(栄町)
写真提供 牟礼・稲田則雄さん)

牟礼三水商工会事業部主催により、2年に一度、旧飯綱中学校体育館で、当時最前線で活躍中の歌手を呼び歌謡ショーが開かれました。



石川さゆりさんと牟礼三水商工会事業部会員の皆さん

この写真は、40年ほど前に歌手石川さゆりさんのショーを開催した時の写真です。商店街での買い物につき補助券が配布され、取り決めた枚数を集まると1名が招待されました。公演は2部構成で1回に1000人は集まったので2000人以上が楽しまれたことになりま

約20回以上続いたイベントで、北島三郎さん、高田みづえさん、三波春夫さん、八代亜紀さん、島倉千代子さん、小林幸子さんという錚々たる方をお呼びしたそうです。

「呼べなかったのは美空ひばりさんくらいだったね。」と小林さん。写真から当時の賑わいを想像し、楽しい気持ちになります。

(中村水和)

「俳句」

(飯綱俳友会)

北風の吹き抜けていく古道かな
東 奈々子

永らえて卒寿を迎う初日の出
荒川しげの

腹八分癒やす胃袋小豆粥
清澤今朝勝

腹休め不老妙薬小豆粥
高野 修

細き月弧線鮮やぐ師走尽
龍野 由子

冬晴に宇宙の調べ水平線
寺島美恵子

線引いて辿る書き初め孫二人
中嶋 良秋

虎落笛音符にならぬ笛の音
仲俣 一重

研ぎすます剣の如く軒氷柱
日野 秀静

東雲の空の金色初明り
前野 泉

「短歌」

真冬日も花のカタログめぐりては
春が来たような気分ひたる
井澤喜世恵

あれこれと種の注文この春も
八十路の農婦じつと手を見る
金井 幸江

寒晴れに五岳くつきり見惚れいる
三・三・五・五と道をゆく人
武田タツ子

古代米のワラに編み込みし赤きこししょう
魔除けにと玄閩に吊るす
町田智頭子

道 ぼ ん た

映画館に行かなくなって、ずいぶん経ちます。学生時代に映画を見始めて、映画に巻き込まれていた時間がとても多かったことを思い出します。

今は倍速送りとかが、タイムパフォーマンスとか、あらずじだけ知るような見方が流行っているようです。

映画は2時間とか3時間、4時間以上あるものもあります。映画祭では何日間も映画にはまって何時間でも見て大変です。それでも、見る事ができるのはとても幸せなことです。

学校の授業のかわりに、映画館に行ったら、点数をくれる先生もいます。

何時間も見るに値する映画があるのかもしれないと思つてもありますが、映画を見ることは、色々なことを教えてくれます。そもそも映画を見てきたのだったと気づくこの頃です。

映画館では、人工ではあるけれども昔はロウソクやランプの光による映画でした。今は電子信号の映画になってしまいました。たくさん知っているようで何も知らないこともあり、実際に目で見て考えることや自然光を感じることも心を動かすために大事なことのような気がします。

(高野)

～三水小学校作品紹介～



「ふかふかなあさがおのふとんにのっているぼく」
鈴木 唯斗さん(1年1組)



「あきのみ」
田中 志歩さん(1年2組)



「くものすでくものたび」
若林 明咲さん(2年1組)



ながの りょうた
永野 涼太さん(3年1組)



ほんごう ゆうと
本郷 佑朋さん(3年2組)



てらしま さや
寺島 沙耶さん(4年1組)



「はげかけをしているぼく」
しずや ひかる
静谷 光琉さん(5年1組)



「ぼくの最高のしゅん間」
やまうら ゆう
山浦 悠佑さん(5年2組)

「冬練だ つらいけれども がんばろう」
宮島 柊翔さん(6年1組)

「寒い冬 家族で仲良く おなべかな」
原望華さん(6年1組)

「お正月 年末ジャンボ 当たるかな」
竜野 樹さん(6年2組)

「大みそか 夜中の零時 ジャンプする」
西林 ひなたさん(6年2組)